

2025年2月26日

Institution for a Global Society株式会社

人的資本理論の実証化研究会

**「人的資本理論×実践」を経営戦略の実現に活かす【人的資本理論の実証化研究会】****2025年度会員企業募集開始&説明会開催！****-理論の実践・非財務情報の可視化・グローバルCHRO養成の3分科会制で、企業ニーズに応える-**

一橋大学大学院・小野浩教授と、一橋大学大学院特任教授兼Institution for a Global Society株式会社（以下、「IGS」）代表取締役会長CEO・福原正大が共同座長を務める「人的資本理論の実証化研究会」（以下、「本研究会」）は、2025年度会員企業（有料）の募集を開始いたします。設立4年目となる本研究会では、これまでの会員企業様からのご要望や人的資本を取り巻く環境変化に合わせ、初めて3つの分科会制にて運営し、各社のニーズに最適な学びと実践の機会を提供します。詳細について、来る3月6日および4月上旬に説明会を開催いたしますので、お知らせします。

**説明会開催概要**

- 日程：
  - ◆ 2025年3月6日（木）14:30-16:00終了予定
  - ◆ 2025年4月上旬予定
- 開催形式：ハイブリッド（オンライン・オフライン）
  - ◆ オフライン開催場所：如水会館（竹橋）および東京都内で調整中 ※詳細はお申し込み後にご案内
  - ◆ オンライン：Zoom ※URLは参加登録者に別途通知
- こんな方におすすめ：企業の人材開発部・人材戦略部などに所属する方、その他経営企画部等で、経営戦略と人材戦略を結びつけた実践的な施策を検討する方
- スピーカー（予定）：人的資本理論の実証化研究会 共同座長

- ◆ 小野 浩 一橋大学大学院教授
- ◆ 福原 正大 一橋大学大学院特任教授 兼 IGS代表取締役会長CEO
- **お申し込み方法：次のURLより事前登録をお願いいたします**
  - ◆ [https://hc-cv-research.jp/news/seminar\\_2501](https://hc-cv-research.jp/news/seminar_2501)
    - ◇ 4月開催へのご参加希望の場合も、事前登録をお済ませください。詳細確定後に改めてご案内をお送りいたします。同URLから個別相談のご希望も承っております。
    - ◇ お申込み締め切りは、開催日の前日12:00です。ただし、オフラインは会場定員に達し次第、期日より前に募集停止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

## 2025年度の研究会活動について

### 3つの分科会を新設し、実践的な学びを提供

2025年度の研究会では、初めて3つの分科会を設置し、企業ごとの関心や課題に応じて選択できる仕組みを導入します：

#### <分科会1> 人的資本理論の実践

- ◆ 経営戦略の実現のために必要な人的資本をどう定めるか（人材要件や環境要因）、人的資本の価値創造への貢献度をどう見るか（人的資本投資の効果検証）を、理論と事例（実務）の両面から検討
- ◆ 従業員データの取得や分析を活用した企業ごとの施策実践
- ◆ プログラムコーディネーター：小野 浩 共同座長・一橋大学大学院教授
- ◆ 全8回の定例勉強会＋実践支援 ※オプションとして個社の現状分析～施策の実行支援有

#### <分科会2> 人的資本と社会的インパクト可視化・投資（非財務情報の可視化）

- ◆ 統合報告書の非財務情報開示を強化し、インパクト投資との関係を整理
- ◆ インパクト加重会計の理解と、企業の持続可能な成長戦略を支援
- ◆ プログラムコーディネーター：野間 幹晴 一橋大学大学院教授
- ◆ 全8回の定例勉強会＋分析支援

#### <分科会3> グローバルCHROエグゼクティブプログラム（多摩大学大学院共催）

- ◆ 経営視点で人材戦略を立案・実行できるCHRO（候補者含む）の育成
- ◆ データ活用、組織文化変革、リーダーシップ強化を中心に学ぶ
- ◆ プログラムコーディネーター：徳岡 晃一郎 多摩大学大学院名誉教授 兼 株式会社ライフシフトCEO
- ◆ 全10回の勉強会、アカデミアおよび実務家によるリアルな講義とケーススタディ等の議論、受講者への個別アドバイスや支援

各分科会の年会費や参加条件、詳しいスケジュール等は、説明会へご参加のうえご確認ください。

また、各分科会は、2025年6月のスタートを予定しております。なお、開催時期や内容等は今後変更となる可能性があることをご了承ください。

**お申し込み方法：次のURLより事前登録をお願いいたします**

- ◆ [https://hc-cv-research.jp/news/seminar\\_2501](https://hc-cv-research.jp/news/seminar_2501)
  - ◇ 4月開催へのご参加希望の場合も、事前登録をお済ませください。詳細の日時・場所が確定後に改めてご案内をお送りいたします。同URLから個別相談のご希望も承っております。
  - ◇ お申込み締め切りは、開催日程の前日12:00です。ただし、オフラインは会場定員に達し次第、期日より前に募集停止する場合がございます。あらかじめご了承ください。

**共同座長からのメッセージ****小野 浩 一橋大学大学院教授**

企業の持続的な成長にとって人的資本への投資が不可欠であることは、多くの研究で示されています。しかし、どのような人的資本投資が本当に効果を生むのか、企業ごとに異なる環境の中で明確な指針を持つことは容易ではありません。本研究会では、理論と実証の両側面から人的資本についての理解を深め、データとエビデンスに基づいた実践的な知見を提供します。特に、経営戦略と人材戦略をどう結びつけるか、人的資本投資がどのように企業価値向上につながるのかを、体系的かつ実証的に解明することを目指します。2025年度は、より多様なアプローチを可能にするために、企業の課題に応じた選択肢を広げました。人的資本を理論的に理解し、実践へのステップを進める場として、ぜひ本研究会をご活用ください。

**福原 正大 一橋大学大学院特任教授****兼 Institution for a Global Society株式会社 代表取締役会長CEO**

お陰様で本研究会は2025年度で4年目を迎え、理論とデータに基づく人的資本の可視化・コントロールを通じ、企業価値を高める企業が増えています。一方タレントマネジメントシステムの導入が進むなか、そのデータや仕組みを企業価値向上へどう活かすかが、より重要なテーマとなっています。こうした背景を踏まえ、今年度は3つの分科会を新設しました。「人的資本理論の実践」では、理論を深めつつデータ分析を活用し、人的資本のROI向上を目指します。「人的資本と社会的インパクト可視化・投資」では、非財務情報を可視化し、投資家との対話を強化します。「グローバルCHROエグゼクティブプログラム」では、経営視点で人材戦略をリードするCHRO育成を行います。本研究会を通じて、人的資本経営のさらなる進化を共に目指していければ幸いです。

**■ 本件の問い合わせ先**

○研究会へのお問い合わせ：「人的資本理論の実証化研究会」運営事務局（中西・西野）

E-mail: [hc-cv-research@i-globalsociety.com](mailto:hc-cv-research@i-globalsociety.com)

○取材に関するお問い合わせ：「人的資本理論の実証化研究会」運営事務局 広報担当（川村）

E-mail: [pr@i-globalsociety.com](mailto:pr@i-globalsociety.com)

【APPENDIX】

■ 「人的資本理論の実証化研究会」発足背景

2023年3月期決算から義務化された「人的資本の情報開示」以来、人的資本の指標に関する議論が行われています。本研究会は、日本企業がこれらの開示にとどまらず、「人的資本が企業価値にどれだけ寄与するものか（人的資本の投資対効果）」を明らかにすることで、経営者へデータに基づいた人材施策の投資判断を促すと同時に、投資家への戦略的な情報開示を実現するため、2022年に発足しました。2024年度は18社の企業が参画しています。

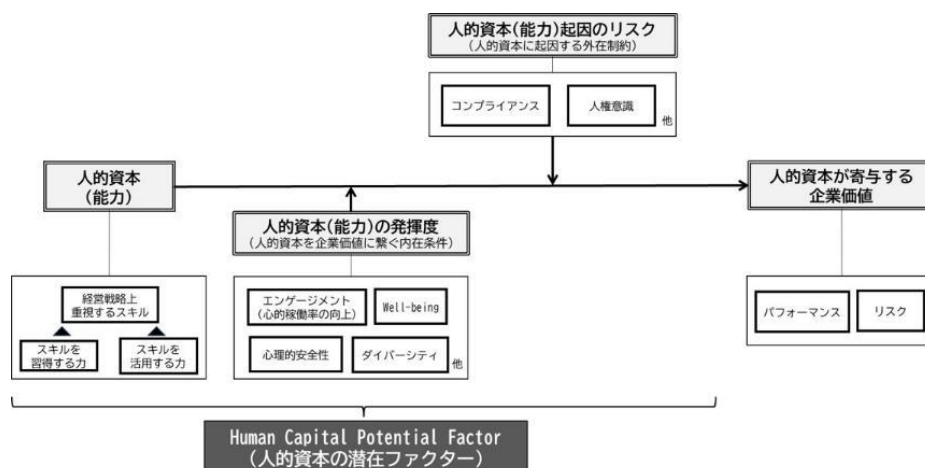
- HP : <https://hc-cv-research.jp/>
- 2022年度の研究成果 : [https://hc-cv-research.jp/news/press\\_230323](https://hc-cv-research.jp/news/press_230323)
- 2023年度の研究結果 : [https://hc-cv-research.jp/news/press\\_240416](https://hc-cv-research.jp/news/press_240416)
- 2024年9月発表『「人的資本の投資対効果」開示レーティング～有価証券報告書 日経225版～』 [https://storage.googleapis.com/studio-design-asset-files/projects/1YWjY3EYam/s-1x1\\_dc2e494-5278-4a38-89e5-944f5de1ee1c.pdf](https://storage.googleapis.com/studio-design-asset-files/projects/1YWjY3EYam/s-1x1_dc2e494-5278-4a38-89e5-944f5de1ee1c.pdf)

■ 本研究会の人的資本に関する考え方

本研究会では、ノーベル経済学賞を受賞した故ゲイリー・ベッカー教授の人的資本理論に基づき、「人の能力こそが企業価値の源泉であり、“人的資本”である」と捉えています。エンゲージメントやダイバーシティは、人的資本（能力）を企業価値に効果的に繋ぐための条件として「人的資本（能力）の発揮度」と位置付け、コンプライアンスや人権意識などは、それらが欠けることで企業価値にマイナスの影響を与える「人的資本起因のリスク」と位置付けています。つまり、人的資本（能力）は、人的資本（能力）の発揮度と掛け合わさることで、企業価値向上にプラスのインパクトを与え、他方で「人的資本（能力）起因のリスク」が外在的に制約を加えるという構造です。

したがって、持続的な企業価値向上のためには、人的資本そのものと、人的資本の発揮度等を含めた「Human Capital Potential Factor（人的資本の潜在ファクター）」を定量化し、企業価値にどのように寄与しているのかについての投資対効果（ROI）を検証していくことが重要であると考えております。

ベッカー教授のもと学んだ小野教授とともに、IGS提供のGROW活用を含め、人材能力データ・財務データ等の企業の実データを分析し、研究を進めています。



<人的資本と企業価値のフレームワーク>